



愛は国境を越えて

張 巧 梅
ZHANG QIAOMEI

初めて海外に来た私は、昔から海外の世界に憧れていました。しかし、初めて家族から離れて、言葉が通じない国で一人暮らしをして、心の中は不安でいっぱいでした。一時的にホームシックになったことがあります。

私たちは毎日、会社のバスで通勤して、とても便利です。運転手さんは60歳で、とても優しくユーモアがある人です。みんなは彼を「おじさん」と呼んでいます。仕事が終わるバスに乗りこむと、おじさんは人数を確認してから、自分で買ったお菓子を取り出して私達にくれます。チョコレート、ビスケットなど、毎回違います。一日の仕事が終わって疲れた私たちは、おじさんから頂いたお菓子を食べると、心が暖かくなります。そして、おじさんは私たちが疲れている姿を見ると、私たちの邪魔をしないように静かに休ませてくれます。でも、毎週金曜日の仕事が終わる時だけは、みんなすごく元気で興奮して、楽しい小鳥のようにバスの中でやがやとおしゃべりします。おじさんも楽しく話をしてくれます。実習生たちの日本語が上手ではないので、意味が通じない時、おじさんは私たちに身振り手振りで一生懸命伝えようとしてくれます。その格好がとても面白いです。車内は楽しい雰囲気に包まれて、おじさんのバスに乗るたびに、実家に帰った気持ちになります。とても暖かいです。

日本に来てから、言葉が通じなくて、文化や習慣が違うため、仕事と生活で多くの悩みがありました。しかし、おじさんのような愛に満ちた外国の方たちにたくさん助けられました。私は心から世界の温もりを感じ、今では、祖国から遠い異国での実習生活を楽しく過ごしています。

最近悪魔のように全世界を席卷した新型コロナウイルスは、人間の生活と仕事に大きなダメージを与えました。マスクや医療用品などが不足状態に陥りましたが、各国間では医療用品を寄付し、医療技術を交流しあい、苦境に陥る人々に暖かさや希望をもたらしています。夜の闇に光をもたらす月光のようなこの愛こそ、暗闇にいても怖くない。みんなの協力によって、この戦いに早く勝てると思っています。

言語や文化の違いは不便ですが、愛にあふれた心は国籍を問いません。愛があつてこそ、世界は暖かくて素晴らしいでしょう。私もおじさんのように暖かさを伝える天使になりたいです。ですから、私はしっかり仕事と勉強をして、自分の能力を高めて、助けが必要な人に温かい希望の光を照らします。自分の力でこの美しい世界に貢献していこうと思います。